

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成24年度採択課題）

F S（革新的研究調査）評価結果

番号	F S 研究名	研究代表者	評 価
24-10	舗装路面の動的たわみ計測装置の開発と健全度評価	東京農業大学 教授 竹内 康	B

<研究の概要>

本研究では、路床の泥濘化や地下埋設物の老朽化・劣化等に伴う舗装路面下の空洞等の構造的欠陥を迅速かつ的確に把握し、舗装の健全度評価を行うことができる走行式の非破壊検査装置である“動的たわみ測定装置”を開発し、実舗装において健全度評価を行うものである。

<FS（革新的研究調査）評価結果>

製作した装置により走行しながら舗装のたわみ計測・健全度評価が可能であることを示した結果から、本採択に向けた条件はクリアーされたと評価し、新規研究として採択する。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. 装置の振動によるノイズ対策は、実用化に向けての重要な要素であり、ハード的な対策の他に、種々の先進的時系列解析を用いたソフト的な対策の検討も行っていただきたい。
2. たわみ計測の精度向上と併せ、支持力の評価結果と舗装の構造的な欠陥（損傷、路面下空洞）との関係についても検討していただきたい。